

# 平成 28 年度弘前大学グローバル人材育成事業モデル事業

## 学生市民等協働プログラム報告書

申請者	所属部局・職名	農学生命科学部・准教授
	氏名	石塚 哉史
事業名	弘大生・若手生産農家による台湾向けりんご加工品の販路開拓プロジェクト	

### 事業の概要とその成果

#### 【構成メンバー】 9名

- ・チームリーダー（農学生命科学部）石塚 哉史（准教授）
- ・指導教員（"）田中 紀充（助教）
- ・参加学生（"）5名（3年生）
- ・市民、企業人（弘前市在住りんご生産農家）2名

#### 【実施期間】

平成28年12月11日～平成28年12月16日

#### 【事業概要とその成果】

##### （1）事業概要

本事業では、青森県産りんごの最大輸出相手国・地域である台湾において、学生の企画・運営によるりんご加工品の消費拡大を目指したイベントの開催し、りんご加工品における国際化対応の現段階と課題について理解を深め、今後の地域貢献に資する人材育成を図ることを目的としている。

なお、本事業における具体的な内容は下記の通りである。

##### ①訪台前

農産物：食品輸出支援機関でのヒアリングおよび資料収集（11月）

協力農家との試飲会場および試飲飲料の選定、アンケート調査項目の検討（12月上旬）

##### ②訪台期間

台湾での加工食品流通・消費動向の情報収集（量販店：CITY SUPER等、卸売市場：台北市第1・第2卸売市場、新北市三重卸売市場等）及び試飲会の実施（台湾・台北市及び新北市）（12月中旬）

##### ③訪台後

報告書作成及びアンケート集計（1～2月）

展示会の成果の取りまとめ（報告書の作成）および協力者が属する産地や団体への報告（2月）

成果報告会でのプレゼンテーション（3月）

##### （2）事業成果

本事業を実施により、下記の3点の成果が確認することができた。

第1は、青森県産農産物・食品がもつ対台湾輸出の持続的発展の可能性について、本学の園芸農学を専門とする教員および学生が、①海外の流通業者・消費者を対象とした青森県産りんご加工品のPRを中心とするイベントの企画・運営に取り組むことによって、学内で学んだ知識の応用を実践する機会が設けられた点、②協働する市民（生産農家）とっても自らが生産するりんごから派生する加工品を中心とした製品に対する消費者意識と購買行動に関連するデータ収集が一定程度可能となり、今後の台湾での事業展開を検討する上での有益な資料を作成することができた。

第2に、本事業を実施することにより事業に参加した学生・院生は、①地域産業を持続的発展させることに資する事業への理解度の向上、②農業・食品関連産業における業務内容の把握（キャリア教育）、という教育面での効果を確認できた。

第3に、視察研修実施後は、参加学生による公開報告会および報告書作成を行うことにより、参加学生・院生以外にも本事業の意義やその内容を理解する効果もあるために、次年度以降に本事業および類似の事業を目指す学生・院生への興味・関心を高める効果が容易に想定される。実際に次年度申請者の所属研究室を配置予定の2年生も（申請者の研究室に所属した後に）本事業の様なプログラムに参加希望するものが複数名確認できており、学科内の活性化に認識できる新たな事象が起きている。

以上の1～3から本事業を実施することにより、地域課題を理解し、その解決方法に関心を持ち、関連する業種への就職を希望する学生が増えつつあり、積年の課題である農業・食品関連産業の国際化対応を担う人材を地域に送り出すことに繋がる可能性を感じられるものであった。